

徳山積水工業(株)における 自然保護活動

徳山積水工業株式会社



目次

1. 徳山積水工業について

会社の概要
事業所周辺の自然環境
環境への取り組み

2. 徳山積水工業の自然保護活動

事例① 積水の森整備活動
事例② 周南市栄谷でのヒノキ育成活動
事例③ 周南市西緑地公園での整備活動
自然保護活動のまとめ

徳山積水工業について

2

徳山積水工業の概要

SEKISUI

社名 徳山積水工業株式会社

設立 1964年（昭和39年）1月20日

所在地 山口県周南市開成町4560番地

代表者 代表取締役社長 野力 優

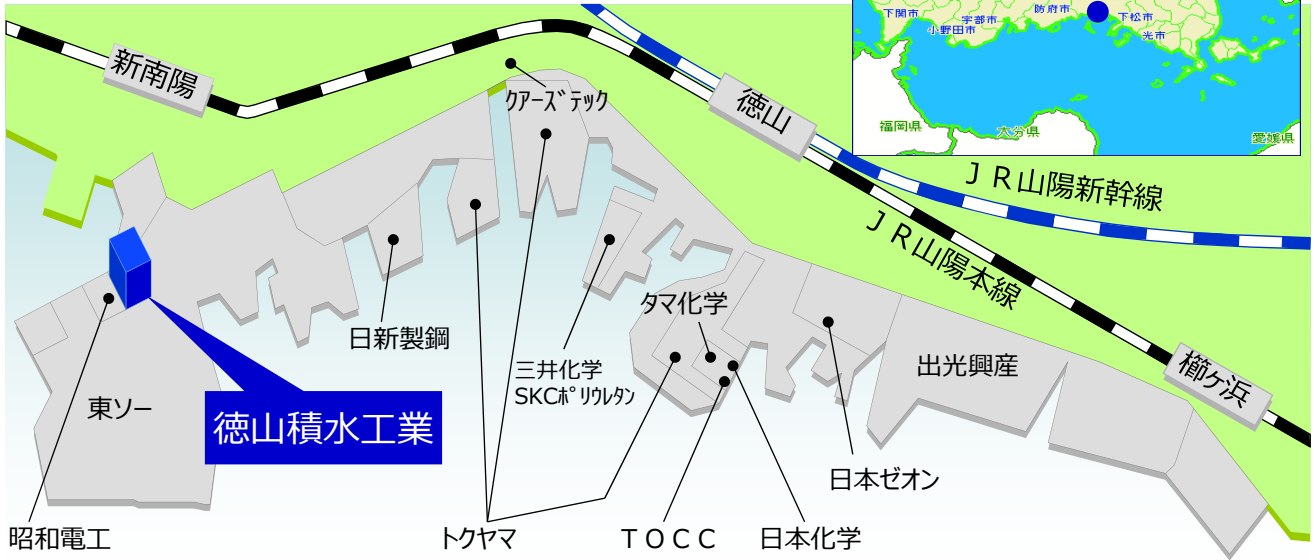
社員数 170人

事業分野

- ポリマー事業
- メディカル事業

- 積水化学グループ初の原料(塩化ビニル樹脂)製造工場として設立
- 積水化学工業と同じく、環境を経営の中心において事業活動を推進

山口県周南市にある周南コンビナート内に位置



事業所周辺(周南市)の自然環境

海側：瀬戸内海国立公園の指定地域



山側：自然豊かな中国山地

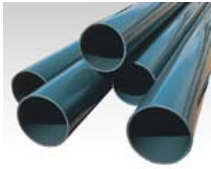


八代盆地・・・本州で唯一 国の天然記念物であるナベヅルが越冬飛来する地

事業所周辺には守るべき貴重な自然環境があります

ポリマー事業

塩化ビニル樹脂
 塩素化塩化ビニル樹脂
 塩ビ-アクリルグラフト共重合樹脂
 アクリル系機能樹脂
 (発泡粒子、中空粒子、耐熱粒子)



水道用耐衝撃管



プラスチックバルブ類



壁紙用発泡粒子

メディカル事業

真空採血管『インセパック』
 (血清用、血餅用、高速凝固用等)
 検査用カラム
 血清分離剤



インセパックⅡ
 (高速凝固用)



検査用カラム

高機能な樹脂・製品を世界中のユーザーへ提供している

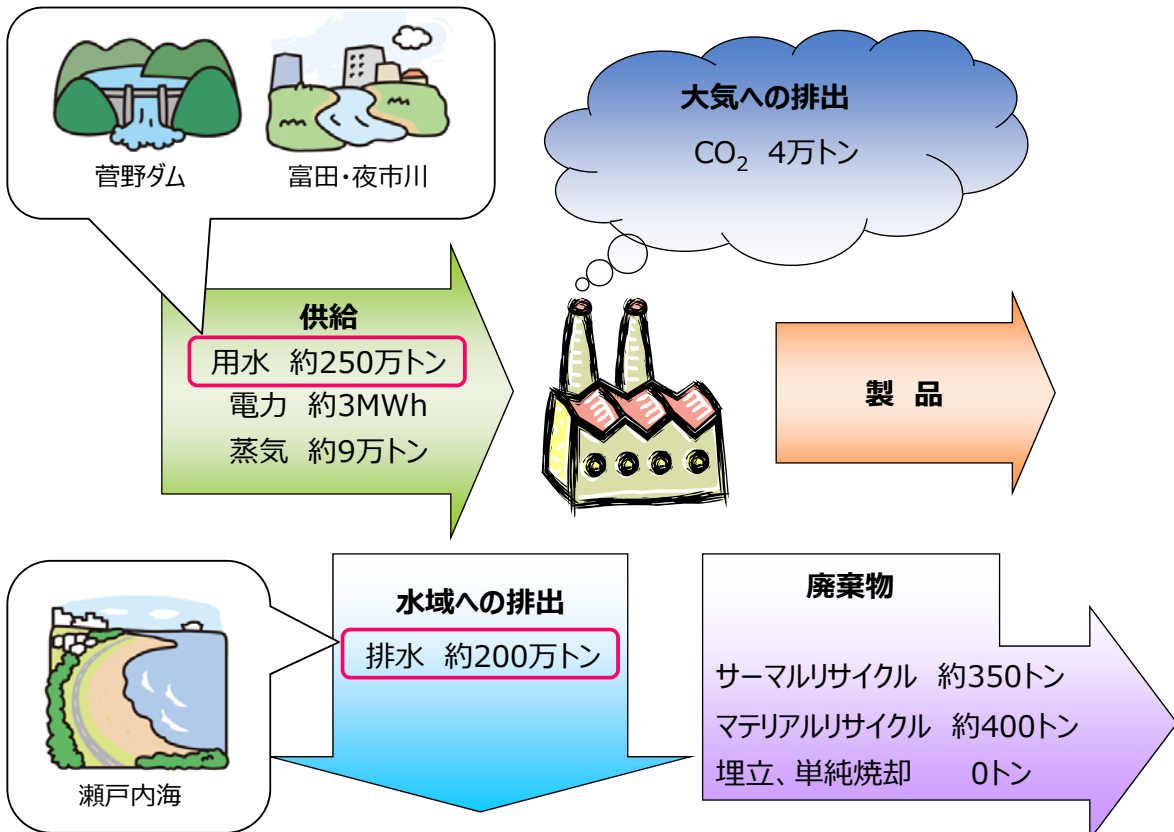


ポリマー事業・・・水、エネルギー（電力、蒸気）、化学物質を取り扱う



積水化学グループの中でも環境負荷の高い事業所

事業所のマテリアルフロー





徳山積水工業(株) 経営理念

人と技術と立地を活かし、
新たな価値を創造して、社会に貢献する



立地である周南市の貴重な自然と共生していくために

技術を活かした

環境負荷低減活動

工場の命である水に着目
『清流工場の構築』
『省エネ活動』

人と立地を活かした

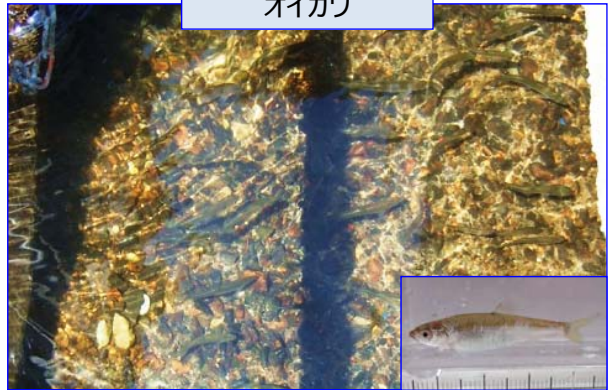
自然保護活動

地域に密着した独自活動
『積水の森整備活動』
『栄谷ヒノキ育成活動』
『周南市西緑地公園
の整備活動』



環境負荷低減活動の結果、
事業場内の水路には
多くの生き物が生息

オイカワ



ウナギ



テナガエビ



徳山積水工業の自然保護活動

10

徳山積水工業の自然保護活動

SEKISUI

積水化学工業の方針(2000年当時)

- ◆ 社会的責任に基づく事業運営
 - ・地球環境対策の積極的推進
 - 自然保護活動の支援



徳山積水工業の方針(2000年当時)

- ◆ 社会的責任に基づく事業運営
 - ・地域に密着したボランティア活動の推進

積水化学グループの環境トップランナーを目指し、独自の活動をスタート

水=工場の“命” ⇒ コンビナートの水瓶（ダム）の源流を育む自然の森に着目

徳山積水工業の独自活動

『積水の森整備活動』

2000年開始（年2回）
市有林の整備活動

『周南市栄谷
ヒノキ育成活動』

2014年開始（年1回）
ヒノキ林の育成活動

『周南市西緑地公園
の整備活動』

2007年開始（年1回）
公園内の竹やぶ伐採、緑地整備

行政、コンビナート各社と共同での活動

『まちと森と水の交流会・森林ボランティア』、『清流錦川一斉清掃大作戦』
『徳山・下松・光・新南陽港区クリーン作戦』、『新南陽地区内空缶一掃クリーン大作戦』

事例① 積水の森整備活動

2000年11月～

【目的】

- コンビナートの水瓶(菅野ダム)の源流を育む森の整備
- CO₂削減

【活動のポイント】

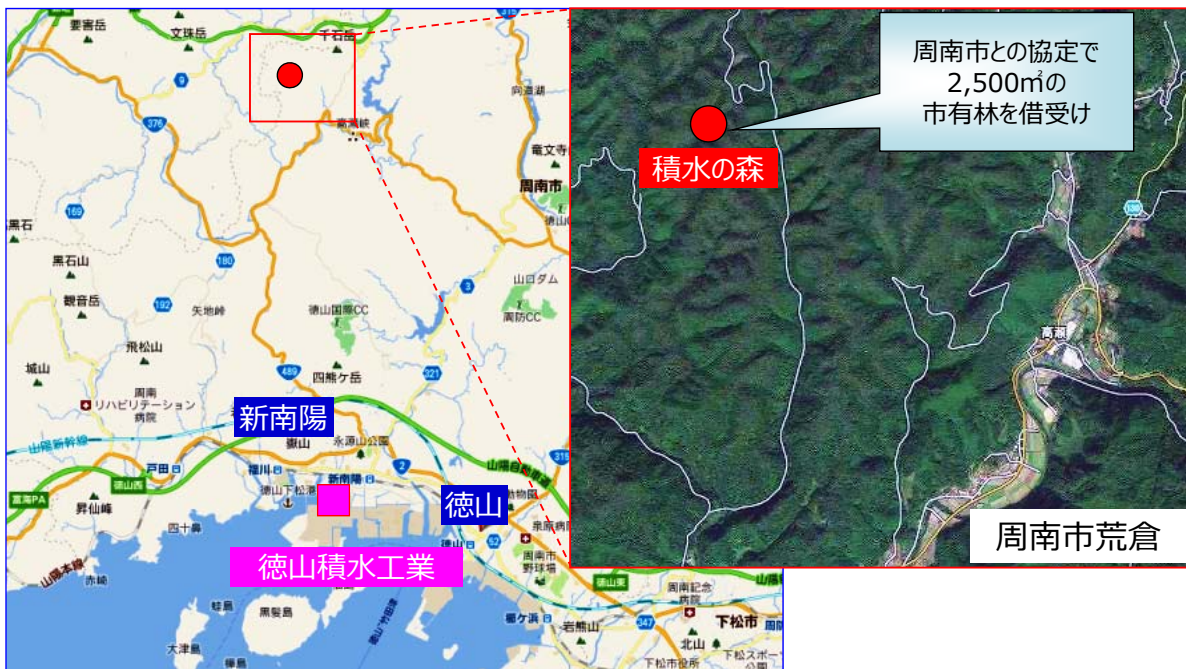
松茸が生えて、
家族でカブト虫や
野鳥等と遊べる観察の森

【活動期間】

2000年～
年2回(春・秋)
18年間 計36回継続実施中



当社から北側約20kmにある周南市の市有林(2,500㎡)で活動





行政や森林の専門家と一緒に官・民・地域一体となって活動

- 活動内容と目指す森の姿を地域に公開
- 遊歩道、階段を整備し下刈りで維持管理
- 植樹や巣箱設置など森を豊かにする取組み

活動紹介看板の設置



遊歩道の造成



階段の整備



植樹活動(新入社員)



巣箱設置(廃木材使用)



- 作業前の教育により安全第一を徹底
- しいたけ栽培や作業後のイベントなどを企画し、活動を楽しんでもらえるように

林業士による安全指導



椎茸の栽培



新人歓迎会



バーベキューと花見



豚汁とおにぎり



- 薄暗かった森は整備活動により明るく自然豊かな森へ
- 植樹した樹木も立派に成長し、野鳥が巣作りをするなど、野生動物の住処となっている

ヒノキの植樹



成長したクロガネモチ



成長したヒノキ



- 長年の活動により積水化学グループ内でも認知され、他事業所からも毎回参加者があり、活動の横展開にもつながっている
- 2009年より、障害者就労施設であるセルフ新南陽も加わり、一緒に楽しく活動を行っている

S AND L SPECIALTY POLYMERS(タイ)の皆さん



セルフ新南陽の皆さん



四国積水工業の皆さん



事例② 周南市栄谷でのヒノキ育成活動

2014年7月～

【目的】

- コンビナートの水瓶(菅野ダム)の源流を育む森の整備
- CO₂削減

【活動のポイント】

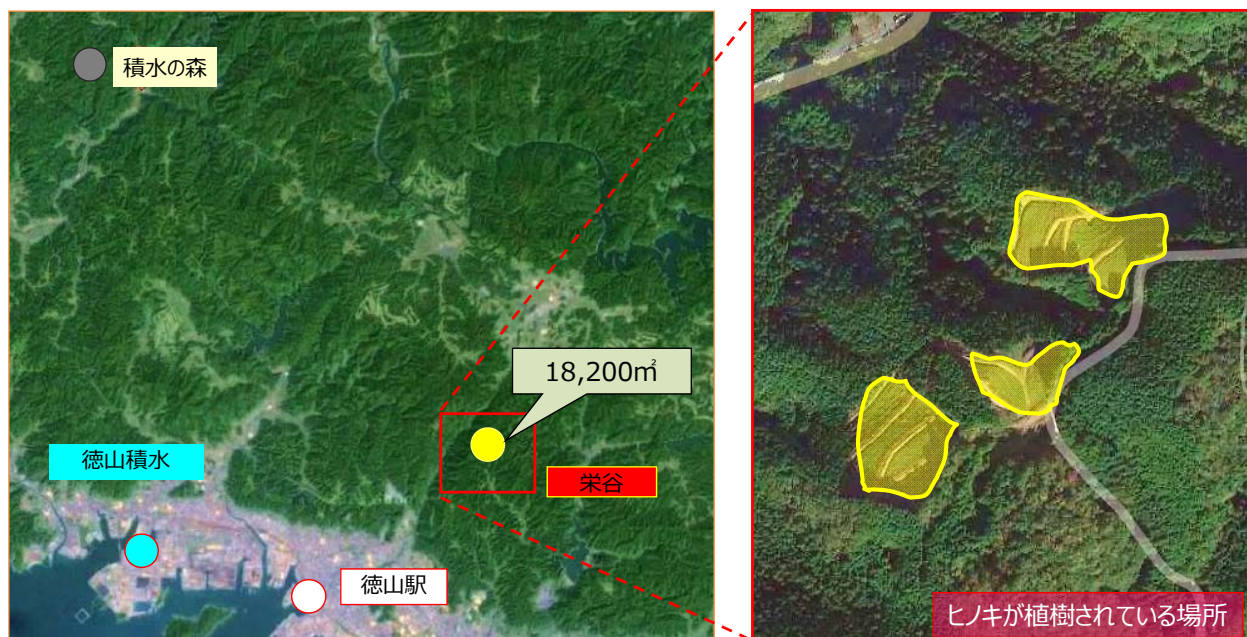
- 社員全員参加の活動
- 環境意識の醸成

【活動期間】

2014年～
年1回(梅雨明け～夏、1週間)



周南市栄谷の市有林(18,200㎡)に
植樹されたヒノキ5,000本の生育をサポートする活動



- 植樹されたばかりのヒノキは背が低いので、雑草に負けないよう下刈りが必要
- 活動1年目(雑草侵入前)は誤伐防止用の竹杭を作製し、ヒノキ1本ずつに設置
- 2年目以降は設置した竹杭を目印に下刈りを行い、ヒノキ育成をサポート

竹杭の作製



ヒノキに竹杭を設置(1年目)



下刈り作業(2年目以降)



- 暑い中での作業なので熱中症対策を強化(飲料の積極配布、ネッククーラー使用)
- 安全教育(急斜面作業)、害虫対策(ハチ、アブ)を実施
- 勤務などで参加できない人へ、事業所内でのサポート活動を企画

飲料の配布



作業者へ常に供給

ネッククーラーの配布



安全教育



周南森林組合
による教育

- 植樹されたヒノキは雑草に負けない高さまで成長
- 毎年成長していくヒノキを間近で感じられる、充実感のある活動
- 山口県より「森林整備活動 CO₂吸収量認証書(※)」を交付

※森林整備活動による樹木の成長により、吸収されるCO₂量を算出したもの（5年間分）

成長したヒノキ



SHIFT 2019 -Fusion-



三宅 隆雄
前代表取締役社長

SEKISUI CHEMICAL GROUP 26

事例③ 周南市西緑地公園の整備活動

2007年3月～

【目的】

- ・生物多様性の保全

【活動のポイント】

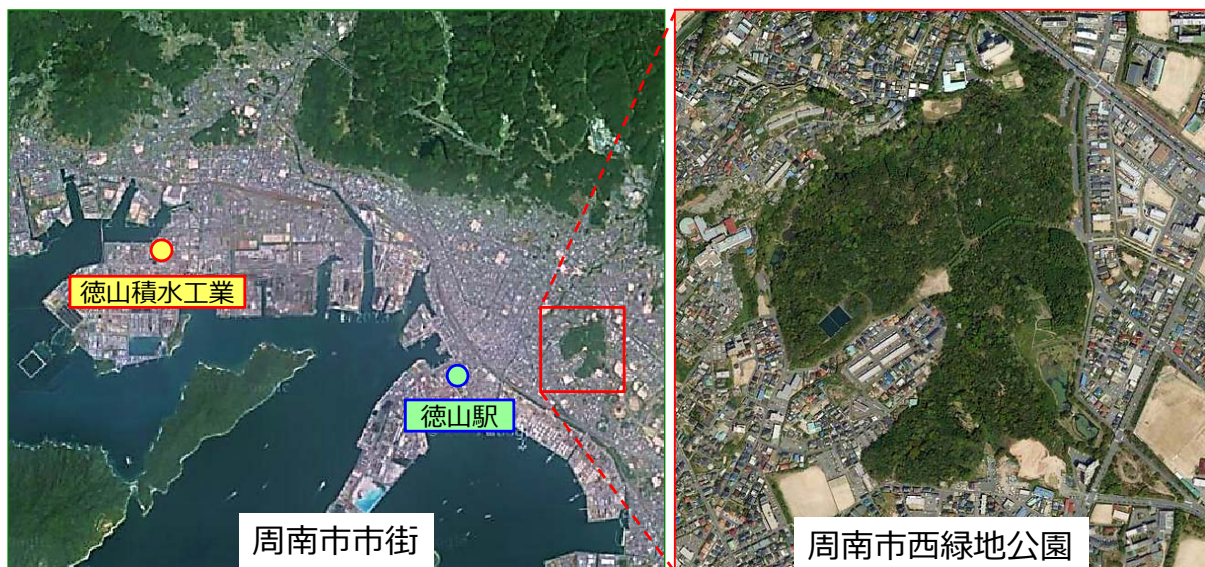
市民の憩いの場である
自然林を生かした公園の整備

【活動期間】

2007年～
年1回(春)



周南市市街地にある西緑地公園での竹やぶの伐採、緑地整備活動



公園の愛護会を立ち上げた当社従業員から
相談を受けたことをきっかけに活動開始

周南市西緑地公園とは・・・

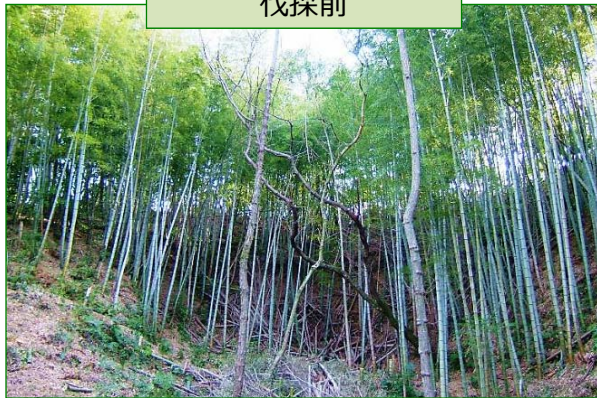
- ・京都大学演習林の跡地を利用し、自然林を生かした公園
- ・遊歩道、菖蒲園、万葉の森などがあり、市民の憩いの場として親しまれている

- 公園の一部で整備が行き届かず竹やぶが生い茂っていた
- 愛護会と協力して伐採を開始
- 切っても切っても生えてくる竹を根気強く伐採を続け、4年をかけて一掃

伐採の様子



伐採前



伐採後



竹やぶ一掃後も整備活動を継続

- 大賀ハス池周辺の整備
- シマトネリコ(外来種)の除去
- 遊歩道の整備

シマトネリコの除去



大賀ハス池の清掃



池への土砂流入防止(土のう設置)



成長を阻害されていた植物が
次々と姿を表し、
リュウキュウチシャノキなど
希少な植物も確認できるように

リュウキュウチシャノキ(沖縄県絶滅危惧Ⅱ類)



バクチノキ(山口県準絶滅危惧)



タカサゴイヌザクラ(国内では希少)



【活動年表】

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
竹やぶ伐採整備活動	モウソウチクの伐採			竹やぶ伐採完了	大賀ハス池 周辺整備		シマトネリコ 除去		池への土砂 流入防止			
活動の成果	リュウキュウチシャノキ発見 (絶滅危惧種)			タカサゴイヌザクラ発見 (国内では希少)	マルバチシャノキ 発見	バクチノキ発見 (山口県準絶滅危惧種)	足立龍次さん 「みどりの愛護」 国土交通大臣表彰		足立龍次さん 積水化学グループ 「最もエコな人」受賞			

樹木観察会



「みどりの愛護」表彰



- 活動により希少種の発見・保全ができ生物多様性のある公園へと変わってきた
- 公園を利用して樹木観察会を開催し、自然への興味を持つきっかけ作りにも活用

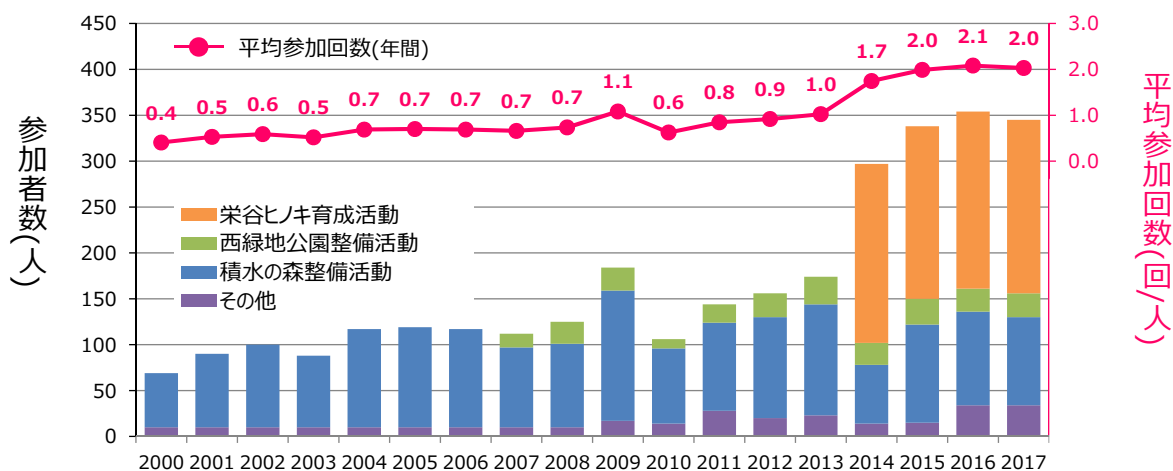
【活動年間スケジュール】

行事	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
徳山積水工業 主催活動	◆ 積水の森整備(春)				◆ 栄谷ヒノキ育成活動		◆ 積水の森整備(秋)					◆
その他の活動				◆ 錦川一斉清掃				◆ まちと森と水の交流会				
				◆ 徳山港グリーン作戦				◆ 空缶グリーン大作戦				

【グループ事業所の自然保護活動への積極参加】



【参加実績】



- 徳山積水工業の自然保護活動への参加者は18年間で**3,000人超**
- 社員の自然保護活動への年間平均参加回数は**0.4→2.0回/人**と上昇し、社員の環境意識向上が活動の継続、内容の充実に繋がっている
- 活動によるCO₂吸収量 合計**77.34トン-CO₂**(2000年～2017年)

世界にまた新しい世界を。

A new frontier, a new lifestyle.

SEKISUI